

## 物理学者と紅茶

中里見, 敬  
九州大学言語文化研究院 : 准教授 : 中国文学

<https://hdl.handle.net/2324/1498425>

---

出版情報 : 日中友好新聞. 第2350号付録 (福岡県連版・文化版第545号), 2015-04-15. 日本中国友好協会  
福岡県連合会  
バージョン :  
権利関係 :

## 随想 第十三回

映画「博士と彼女のセオリー」

で、ホーキング博士が介護士に文字盤を使って builder's tea を飲みたいという場面があった。建設労働者の紅茶ってどんなものだろうと思ひ調べてみると、濃いめの紅茶にミルクとたっぷりの砂糖を入れ、ティーカップではなくマグカップで飲む飲み方という。なるほど上品な紅茶よりも、こちらの方が疲れを癒やしてくれそうだ。

三十年も昔のこと、初めて中国旅行の際、中国語の先生から祁門紅茶(チーメンホンチャ)を買ってくるという課題を与えられた。

帰国前日、上海のお茶屋さんに

### 物理学者と紅茶

中里見 敬

行くと、大きな金属缶に入った茶葉が何十種類も棚に並んでいる。たどたどしい中国語で店員さんに祁門紅茶があるか尋ねた。同じ祁門紅茶でもいくつもの等級がある

こと、両(50g)という単位で量り売りすることなど初めて知ることばかりだったが、小さな茶色の紙袋に詰められた祁門紅茶を一両ずつ二包み、先生用と自分用に買うことができたときの喜びは格別だった。

最近もいただきものの祁門紅茶を飲む機会があったが、あのとき中国で苦勞して買った紅茶が一番おいしかったような気がしている。

(九州大学言語文化研究院准教授)